

奈良県感染症情報

平成 27 年 第 12 週(3 月 16 日～ 3 月 22 日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

■ 小児科外来情報

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	4.74	(7.18)	↘	↘	→	↗
2	インフルエンザ	3.63	(4.02)	→	→	→	↓
3	A群溶連菌咽頭炎	2.47	(1.85)	↑	↑	↑	↘
4	手足口病	0.79	(0.76)	→	↘	↑	↘
5	RS ウイルス感染症	0.56	(0.44)	→	↘	↗	↗

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

感染性胃腸炎は奈良市保健所、中和保健所西部(旧葛城保健所)地域で大きく減少しましたが、こまめな手洗いを心がけて予防に努めましょう。

インフルエンザは減少傾向が続いていますが、奈良市保健所管内では定点当たりの報告数が 5.0 を超えています。インフルエンザは定点当たりの報告数が 1.0 を下回るまでは引き続き注意が必要です。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(A群溶連菌咽頭炎)の報告が北部地域を中心に増えてきています。例年よりかなり高いレベルで推移しており、昨年度のピーク時よりも多い状況です。現在、A群溶連菌咽頭炎は全国的にも増えています。飛沫感染、接触感染の予防として手洗い、うがいなど一般的な予防の励行が大事です。

手足口病は例年よりも高いレベルで推移しています。県内全域から報告がありますが、中部地域で特に多い状況です。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(矢追医院)

インフルエンザは平均して1日1人程度の発症者が2月初旬より続いている。2月中は大半がA型であったが3月になりB型となっている。

感染性胃腸炎は、中学生以上では生かき関連が大部分で、幼児は保育園児が多い。ノロウイルスは嘔吐と下痢が軽度で2-3日で軽快している。手足口病が幼児で時にみられるが、発熱はみられない。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

外来数は気温の寒暖により僅かに増加。

インフルエンザは前週やや増加傾向が見られたが、今週に入りほぼ終焉の様相。B型が主、A型がわずか。発熱と咳嗽の激しい気管支炎、肺炎の例が幼児、学童に増加。

感染性胃腸炎は減少傾向であるが嘔吐が主のノロ様の例もある。3才児でロタウイルス陽性例があった。

他にA群溶連菌感染症が小流行中。

南部地区(県立五條病院小児科)

一部保育所でインフルエンザB型の小流行があるも、全体としては患者数は少ない。

ノロウイルス様の胃腸炎の流行は続いている。ロタウイルス陽性例は少ない。

RSウイルス感染例もあるが軽症に経過した。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 27 年 第 12 週 3 月 16 日 ~ 22 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	54	11	16	11	11	2	3	
インフルエンザ	196 (3.63)	61 (5.55)	46 (2.88)	38 (3.45)	47 (4.27)	1 (0.50)	3 (1.00)	
小児科定点数	34	7	10	7	7	1	2	
RSウイルス感染症	19 (0.56)	4 (0.57)	1 (0.10)	8 (1.14)	5 (0.71)	1 (1.00)		
咽頭結膜熱	7 (0.21)	4 (0.57)	1 (0.10)		2 (0.29)			
A群溶連菌咽頭炎	84 (2.47)	24 (3.43)	33 (3.30)	8 (1.14)	17 (2.43)		2 (1.00)	
感染性胃腸炎	161 (4.74)	26 (3.71)	51 (5.10)	28 (4.00)	42 (6.00)	4 (4.00)	10 (5.00)	
水痘	3 (0.09)	2 (0.29)			1 (0.14)			
手足口病	27 (0.79)	5 (0.71)	4 (0.40)	17 (2.43)			1 (0.50)	
伝染性紅斑	4 (0.12)		3 (0.30)		1 (0.14)			
突発性発しん	12 (0.35)	4 (0.57)	2 (0.20)	4 (0.57)			2 (2.00)	
百日咳								
ヘルパンギーナ								
流行性耳下腺炎	5 (0.15)		5 (0.50)					
眼科定点数	9	1	3	2	2	0	1	
急性出血性結膜炎	1 0							1 1
流行性角結膜炎	1 (0.11)			1 (0.50)				
基幹定点数	6	1	2	1	1	1	0	
細菌性髄膜炎								-
無菌性髄膜炎								-
マイコプラズマ肺炎								-
クラミジア肺炎								-
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	8 (1.33)	1 (1.00)			7 (7.00)			-

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核6件(郡山2、中和3、内吉野1)
3類感染症	
4類感染症	
5類感染症	アメーバ赤痢1件(郡山1)

❖ 第12週のトピックス ❖

感染症は一国の問題ではない～エボラ出血熱、～エボラ出血熱、 Dengue熱を例に～厚労省HP [PDF:9,642KB]

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/dl/20150216symposium.pdf>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男		1	1	4	4	3	10	11	6	9	6	22		3	1	6	1	4	4	1	93	3661
	女		3	3	1	7	5	6	8	7	13	1	10	3	5	7	6	8	4	2	4	103	3699
RSウイルス感染症	男		1	3	4			1														9	171
	女		3	4	1	2																10	167
咽頭結膜熱	男				1		2			1				1								3	53
	女			1			1															4	30
A群溶連菌咽頭炎	男		1		6	6	4	3	9	4	3	2	4									42	285
	女			2	7	2	8	1	5	7	3		6		1							42	238
感染性胃腸炎	男	2	3	8	15	12	9	4	6	3		2	8	1	7							80	1049
	女	1	2	9	13	5	4	2	4	8		4	6	5	18							81	983
水痘	男						1															2	83
	女																					1	79
手足口病	男			5	6	1		2	1			1										16	109
	女			4	3	1	2			1												11	92
伝染性紅斑	男								1	1												1	27
	女										1		1									3	25
突発性発しん	男		2	4	2																	8	74
	女		1	3																		4	71
百日咳	男																						1
	女																						
ヘルパンギーナ	男																						1
	女																						
流行性耳下腺炎	男								1	1	1											3	33
	女								1		1											2	37
急性出血性結膜炎	男															1						1	1
	女																						
流行性角結膜炎	男																					1	17
	女																					1	19
細菌性髄膜炎	男																						1
	女																						2
無菌性髄膜炎	男																						1
	女																						2
マイコプラズマ肺炎	男																						5
	女																						5
クラミジア肺炎	男																						
	女																						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男	2	2	1																		5	20
	女		3																			3	13

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

■ H27 ▲ H26 □ H25 〰 過去10年平均

